

豊橋市まちなか図書館(仮称)

世界を広げ、まちづくりに繋げる
“知と交流の創造拠点”

I まちなか図書館(仮称)とは

基本理念・基本方針

基本理念

世界を広げ、まちづくりに繋げる
“知と交流の創造拠点”

基本方針

- 1 新たな世界を発見し、創造する
- 2 交流、活動を通して、人と人が繋がる始点となる
- 3 気軽に立ち寄れ、心落ち着く居場所となる
- 4 再開発エリアや中心市街地の諸機能等と連携する
- 5 次代のまちづくりと中心市街地のにぎわい創出に繋げる

まちなか図書館(仮称)が目指すもの

図書館の基本的な機能を押さえつつ、まちなかにこそ求められる機能を担う

「発見する」「学ぶ」「集う」「交流する」「くつろぐ」の5つの機能を有機的に連携、「訪れてみたい」なり、「まち」や“人”に焦点を当てた「役に立つ」「魅力的な」サービスを展開します。

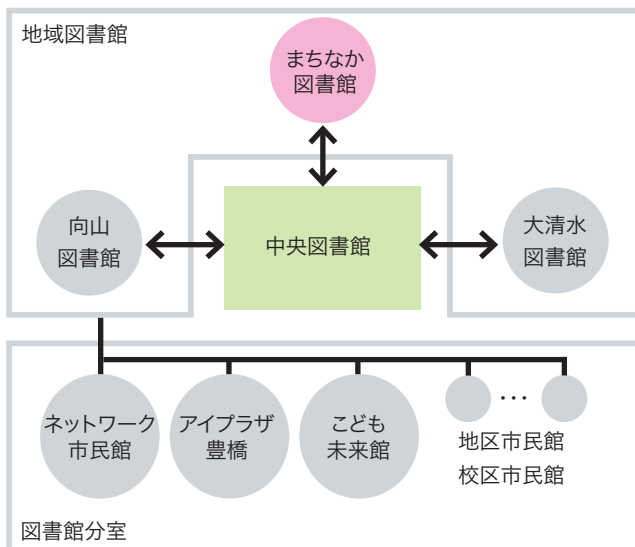
新たな情報や人との出会いを創出し、まちづくりに寄与する人材を育成する

情報や「知」に触れ、人と出会い「交流」することにより自らの世界を広げ創造する人を育て、市民主体の活動に繋がる場、市民の「サードプレイス」として整備します。

サードプレイスとは

家庭でも職場でもない、親しみやすく居心地の良い第3の場所。対話によって創造的なアイデアを生み出すことができ、多様な人々と出会える。

図書館ネットワークのイメージ



整備に向けて重視するポイント

- 1 新たな利用者層を掘り起こす
- 2 市民とともにつくる
- 3 まちづくりに繋げる
- 4 中心市街地の立地を生かす
- 5 中央図書館と役割を分担し、連携を図る

導入位置

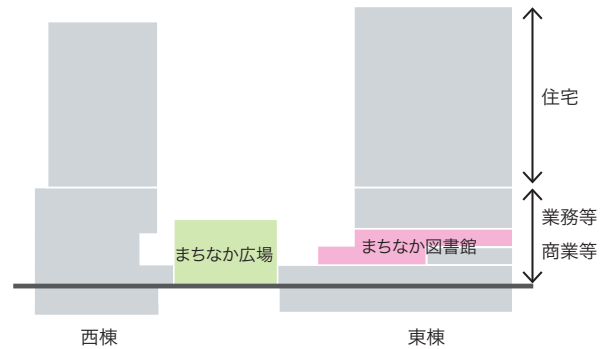
まちなか図書館 (仮称) (以下、「まちなか図書館」という) は、豊橋駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業により整備される再開発ビル(東棟)に導入する予定です。

また、再開発エリア内ではまちなか広場 (仮称) (以下、「まちなか広場」という) の整備も予定しています。

位置図



立面イメージ



施設規模等

施設規模	4,000㎡以内
導入位置	東棟2階の一部と3階
目標利用者数	年間50～70万人 ※参考 中央図書館の年間利用者数: 約40万人(平成26年度)

背景・経緯

豊橋市の現状と課題

- ・ 図書館ネットワークの拡大により利便性は高まっているが、現在、図書館を利用していない人を呼び寄せる新たな魅力の創出が必要
- ・ 魅力あふれる地域づくりや地方創生の観点から、市民がいきいきと輝いて暮らせ、持続可能なまちづくりを進めるために未来の豊橋を創造する拠点が必要

図書館を取り巻く環境の変化

- ・ 図書館の役割が資料収集や調査支援だけでなく、新たに「地域や住民にとって役に立つ図書館として存在意義を確立する」ことに変化
- ・ 図書館の可能性が広く認知され様々な役割が求められるなか、市民ニーズや地域の実情にあったものとする必要がある

経緯

「豊橋市図書館整備構想」平成18年3月策定

豊橋駅東口地域に新たな図書館の整備を目指す。

「第2期豊橋市中心市街地活性化基本計画」平成26年3月認定

魅力的な公共空間を整備し、中心市街地のにぎわいに広がりを持たせる。

再開発ビル内への
まちなか図書館の
導入を決定

II 基本方針に基づく特徴的サービス

01 新たな世界を発見し、創造する

活字や映像のほか、対話による生きた情報など、様々な形態の情報を得ることにより、新たな世界を発見しこれまで培った知と融合させつつ新たな発想や価値を創造することができる図書館を目指します。

サービス例

- ・ 館内を巡り、つい手に取ってみたいくなる本のディスプレイ
- ・ 映像編集などの創作活動ができる情報端末の提供
- ・ 読者によるお勧め本の紹介



まちなかのお店による本の紹介

02 交流、活動を通して、人と人が繋がる始点となる

おのずと人が集い、出会いが生まれ、交流の輪が広がることにより、人と繋がった豊かな人生を作りあげることができる図書館を目指します。

サービス例

- ・ 趣味や健康づくりなどの参加型ワークショップの開催
- ・ 法律、起業、就職、健康等に関する各種相談
- ・ ビブリオバトルなどのコミュニケーションイベントの実施



ビブリオバトルの様子

※ビブリオバトル

参加者が読んで面白いと思った本を持って集まり、本を紹介。その後、ディスカッションを行い、最後に一番読みたいと思った本に投票をする。

03 気軽に立ち寄れ、心落ち着く居場所となる

誰もが気軽に立ち寄れて、自分のスタイルで良質な時間を過ごせる、心やすらぐ図書館を目指します。

サービス例

- ・ カフェやラウンジなど気軽に立ち寄れ、くつろげるスペースの提供
- ・ 照明の明るさ、BGMの選択、夜間の酒類の提供など、時間帯や利用者層の違いを意識したサービス



ブック&カフェの様子

04 再開発エリアや中心市街地の諸機能等と連携する

再開発エリアの商業・文化施設や中心市街地の店舗等と連携し、利用者に魅力的なサービスを提供する図書館を目指します。

サービス例

- ・書店、飲食店等やこども未来館（ここにこ）、穂の国とよはし芸術劇場（以下、「プラット」という）と連携した取組の推進
- ・中心市街地の店舗が持つ専門的な知識やノウハウを紹介するイベント、講座の実施



まちゼミの様子

05 次代のまちづくりと中心市街地のにぎわい創出に繋げる

次世代にわたり「私たちのまち・豊橋」について考える人を育て、にぎわいの創出やまちづくりに繋がる図書館を目指します。

サービス例

- ・産業、福祉、教育、環境など各分野の市民、専門家を招いた講演会やサイエンスカフェ等の開催
- ・新たな活動フィールドを求める市民や人材還流のための情報提供や支援



まちづくりディスカッションの様子

まちなか図書館の特色

「ソムリエ」について

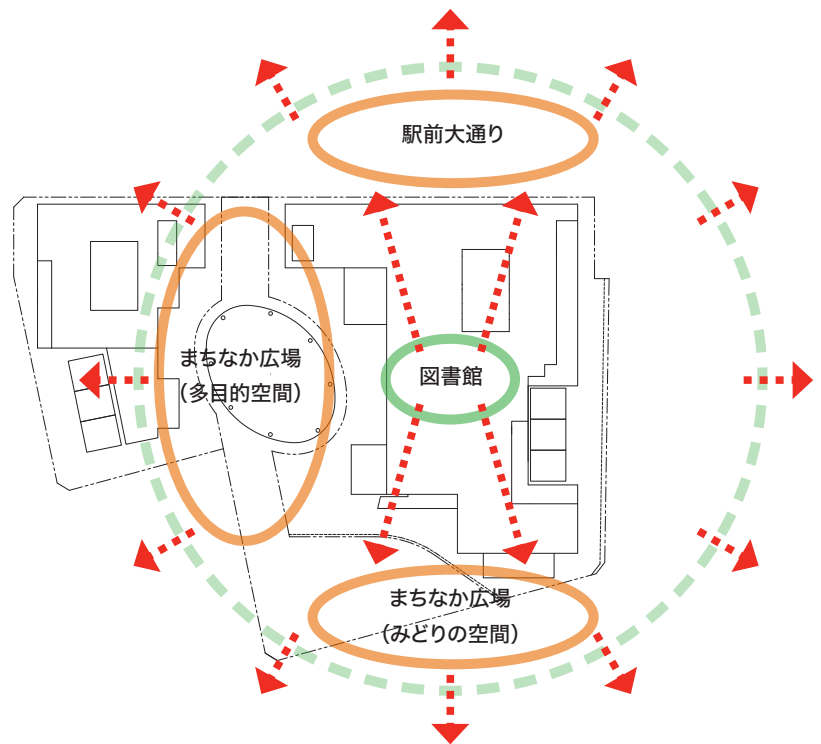
特定の分野について専門的な知識を持つ「ソムリエ」が、まちなか図書館で行われるイベント、セミナーの講師等のほか、スタッフに対して選書の支援や市民からの相談・疑問への対応についてアドバイスをを行います。ソムリエは不定期に来館し、市の職員や関連する団体だけでなく、地域の特色ある企業、大学、まちづくりに繋がる活動を行っている団体や個人等を想定しています。

III 施設コンセプト・空間レイアウト

施設コンセプト

「街に広がる図書館」

図書館を中心に北側の駅前大通り、西側のまちなか広場「多目的空間」及び南側「みどりの空間」と図書館との繋がりを意識し、街に放射状に広がる図書館



空間レイアウト

- ・それぞれ特徴を持つ5つのゾーンを配置
- ・各ゾーンのコンセプトに合わせ「音」に配慮
- ・ユニバーサルデザイン、環境負荷抑制への取組を再開発ビルと調整

2階「出会い、語らい、交流するにぎやかなフロア」

配置ゾーン

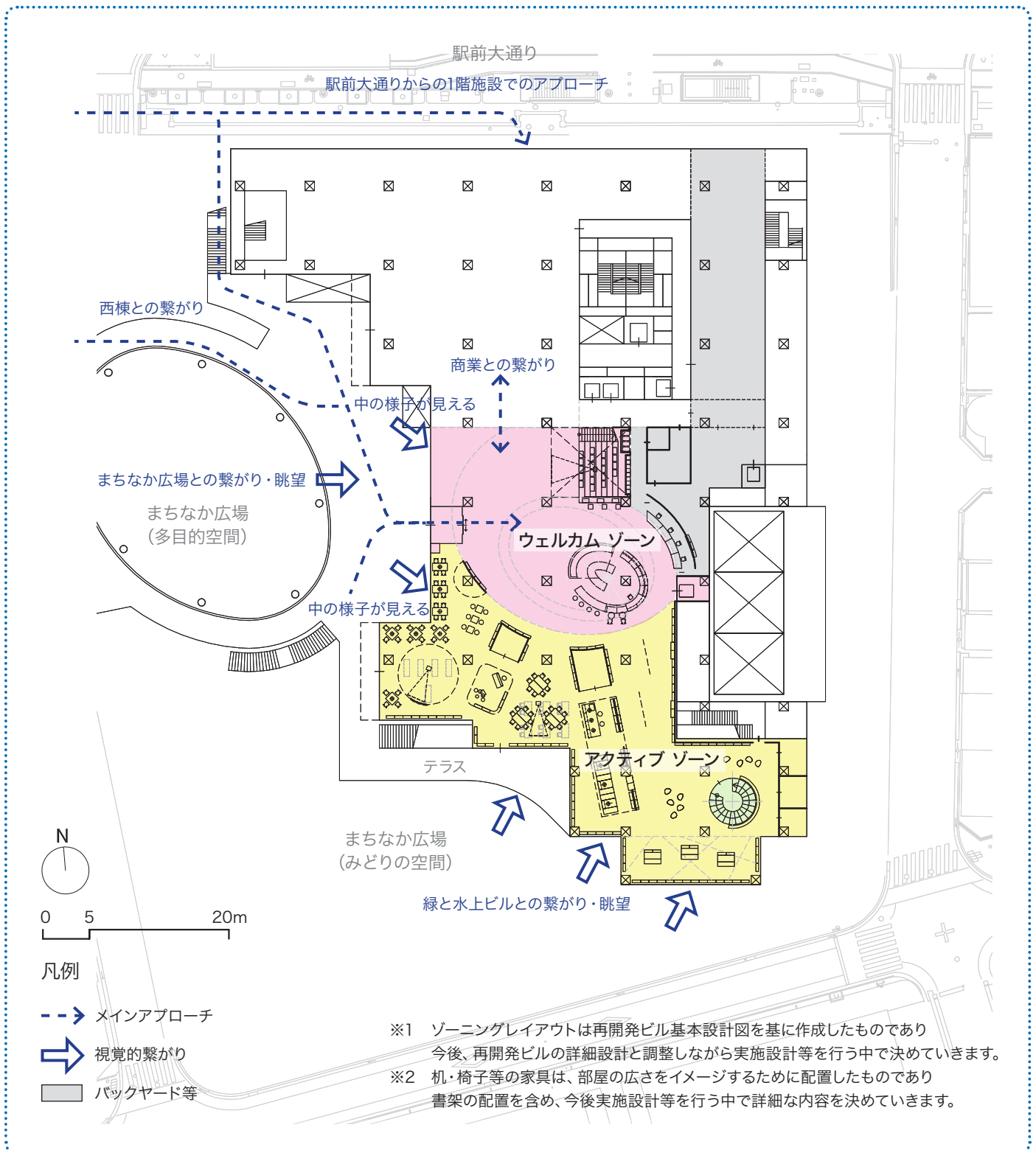
- ・ウェルカム ゾーン
- ・アクティブ ゾーン



平面図イメージ

計画のポイント

- ・駅前大通り、まちなか広場を意識した図書館へのアプローチ
- ・まちなか広場、水上ビルとの視覚的繋がり
- ・商業との繋がり



3階「創造し、時にはくつろぐ静かなフロア」

配置ゾーン

・グローアップゾーン ・リラクゼーションゾーン ・ラーニング・クリエイティブゾーン



平面図イメージ

計画のポイント

- ・駅前大通り、まちなか広場、水上ビルとの視覚的繋がり



IV 各ゾーンの空間イメージ・サービスイメージ

WELCOME

2階 ウェルカムゾーン

図書館を訪れた人が気軽に手に取れるような雑誌や人気のある本、新着本、お勧めの本等を中心に配架し、可動式書架の配置を柔軟に変え、本の表紙を見せるなどディスプレイにも工夫をすることで、立ち寄りやすくワクワクする空間とします。



空間コンセプト

図書館外のにぎやかな空間と中をゆるやかに繋ぐ場(駅前大通り、まちなか広場、商業スペースと図書館の間を出入りしやすい雰囲気、気付かないうちに図書館に入ってしまう)

主な配置スペースの例

(以下、スペース名等はすべて仮称)

- ・インフォメーションスペース
- ・パフォーマンススペース
(誰もが参加できる場)
- ・待ち合わせ、チャットスペース
- ・ブックカフェ

主なサービス、活動イメージ



サービス・活動事例	コンシェルジュによる案内	パブリックビューイング
サービス・活動内容	まちなかの最新情報(店、人、景観等)の提供	プラットやこども未来館等で行われているイベントの鑑賞等 例)プラット:市民劇、トークショー こども未来館:イベント映像特集等
主な対象	立ち寄った人、豊橋を訪れた人	立ち寄った人、演劇、音楽に興味のある人

ACTIVE

2階 アクティブゾーン

日常生活を豊かにする本(食、健康、音楽、映像等)を中心に配架し、イベント開催時には、その内容に合った本を並べます。また、可動式書架の配置替え等により、参加者だけでなく立ち寄った人にも興味が深まるような空間とします。



空間コンセプト

にぎやかで活気がある場
 新たな出会い、興味が深まる場
 開放感があり、活動をしたくなる場

主な配置スペースの例

- ・パフォーマンススペース
 (市民主体で活動を行う場)
- ・キッズスペース

主なサービス、活動イメージ



サービス・活動事例	大人の部活動	出張まちゼミ
サービス・活動内容	共通の趣味、目的のため市民が主催する交流イベントや活動 例) SNS等で市民が呼びかけ、誰でも参加できるテーマ別ワークショップ、オフ会等	地元商店等が店舗の扱う商品等に関する知識を教えるゼミナール
主な対象	趣味を共有したい人、仲間を探している人	プロならではのコツを学びたい人

3階 グローアップゾーン

若者が集まる場として、学習、資格取得等の学生生活に役立つ本やティーン向けの雑誌、音楽、ファッションなど、若者の興味を引く本を中心に配架します。また、人目に留まる場所に将来への夢が広がる本や社会情勢に関する本などを配架し、読書が若者の成長に繋がられる空間とします。



空間コンセプト

同世代の友人と語り、ともに学ぶ場
 学生生活を応援する場
 生き方、将来について考える場

主な配置スペースの例

- ・ティーンズスペース
- ・ガヤガヤスペース

主なサービス、活動イメージ



サービス・活動事例	放課後クラブ活動	理系、文化系部活動コンテスト
サービス・活動内容	<p>地元の学生が主体となり、まちなか図書館を利用した活動</p> <p>例) 同世代等に勧める本を並べた書棚、学生が制作・運営するウェブサイト、LINE等による図書館PR等</p>	<p>地元高校生による、理系、文化系部活動コンテスト</p> <p>例) ロボット、書道、ファッション等</p>
主な対象	豊橋が好きな学生	部活動をがんばっている高校生

RELAXATION

3階 リラクゼーションゾーン

座席、静かさ、広さなど自分のスタイルに合わせて選択できる多様な閲覧スペースを設置し、まちなか広場（みどりの空間）など自然を感じられる眺望の中で、好きな本を読みながら、ゆっくりくつろいで時間を過ごせる空間とします。



空間コンセプト

本と向き合い、自分と向き合う
 本とともにくつろぐ至福の時間
 大人の隠れ家

主な配置スペースの例

・多様な閲覧スペース
 （ソファ席、テーブル席、スツール席、
 プレミアムシート等）

主なサービス、活動イメージ



サービス・活動事例	レコメンドサービス
サービス・活動内容	司書やアプリケーションが利用者の気分や感情に合った本を勧めるサービス 例)大切な人と一緒に読みたい本、泣きたいときに読む本の検索、紹介等
主な対象	読書で心を豊かにしたい人 気分をリフレッシュしたい人

3階 ラーニング・クリエイティブゾーン

ビジネス・経済関連の本や科学・技術・デジタルに関する専門書などの配架と最新の情報機器の活用により、ビジネスパーソン等がスキルアップを図れ、創造活動や起業に繋がる空間とします。また、日頃感じる疑問や将来の不安の解消など、暮らしに役立つテーマ(財産、法律、健康等)の本を配架します。



空間コンセプト

集中・創造の場
内なる情熱がわき立つ場
レベルアップ、スキルアップ

主な配置スペースの例

- ・クリエイティブスペース
(ものづくり、映像編集等の作業場)
- ・ラウンジ
(Collaboration 話をしながら協業する場)
- ・ラーニングスペース(Focus 集中する場)
- ・グループスペース

主なサービス、活動イメージ



サービス・活動事例	クリエイティブ系ワークショップ	起業支援セミナー
サービス・活動内容	地元のクリエイター等による情報メディアの表現、発信に関し、実際に機器等の扱い方等を学ぶワークショップ 例)映像編集、プログラミング等	地域のベンチャー企業等によるビジネスに関するセミナーの開催 例)webビジネス、ゲーム開発、ビジネスヒントを得る方法等
主な対象	クリエイティブな活動、表現活動に興味のある人、ステップアップしたい人	起業をしたい人、収入を得たい人 (大学生、社会人、主婦等)

V 蔵書・管理運営等

蔵書

中央図書館と役割を分担し、まちなか図書館の機能に関連した特色を持つ資料や情報の収集を図ります。

- ・社会のトピックスを気軽につかめる資料（特徴ある雑誌、新聞等）
- ・まちづくりに繋がる情報（豊橋又は豊橋文化発祥に関わる企業、著名人等）
- ・まちなかの情報（イベント情報、タウン誌等）など

開架を基本

約10万冊

ICTを活用したサービス

ICTの技術は常に進化しているため、最新の技術や情報発信手段を上手に活用していきます。



効果的な情報発信

- ・デジタルサイネージ
- ・SNSなど



ITツールの活用支援

- ・Wi-Fi設備、電源の設置
- ・画像、映像編集ソフトなど

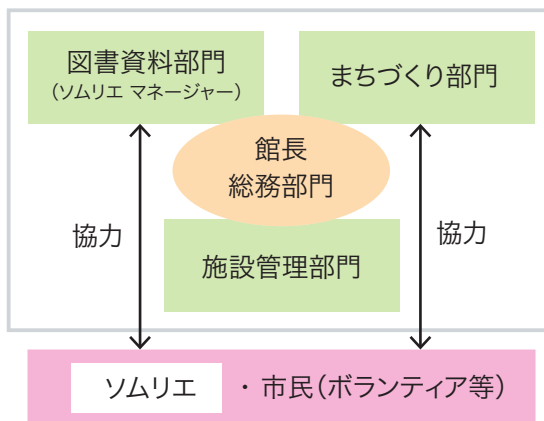


役に立つアプリケーションの導入

- ・本のお勧め機能を付加した図書検索
- ・地域の情報を得られるナビゲーションなど

管理運営の考え方

組織構成(案)イメージ



館長

施設全体を統括し、一体的なマネジメントを行う役割を担います。選定方法は、公募、指名、内部登用等から、最も適した方法を検討しますが、その選定は、できるだけ早い時期に行い、スタッフ育成等の準備を進める必要があります。

管理運営形態

中枢となる部分については直営を基本としつつ、効率化を図ることも必要なため、業務内容を細かく分類し、最適な管理運営形態を選択していきます。

開館時間、休館日(案)

開館時間	平日、休日ともに9時～22時
休館日	月1回程度 その他の休館日は、再開発ビルや周辺商業施設の状況を考慮

開館後においても利用状況や市民ニーズに応じた柔軟な見直しが必要となります。

駐車場、駐輪場

駐車場	周辺駐車場を活用し、駐車券サービス等による連携を検討
駐輪場	再開発エリア内に短時間駐輪等の利用形態を考慮した整備を検討

まちなか図書館へ来館する方法は、原則、公共交通機関の利用を促します。

VI 整備スケジュール

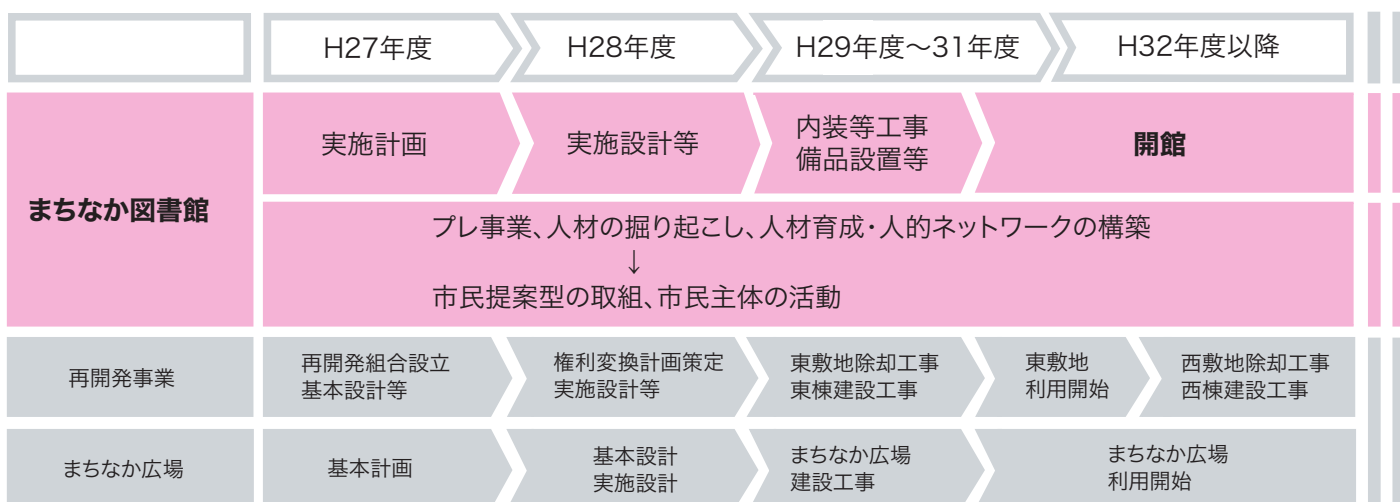
概算事業費

約30億円

内訳:再開発ビルの保留床(土地を含む)購入費、内装工事費、備品購入費等
 ※社会資本整備総合交付金(都市再構築戦略事業 基準補助率1/2)を活用

整備スケジュール

再開発事業の主体となる再開発組合と調整を図りながら、平成31年度中の開館を目指しています。開館までは継続してプレ事業を実施し、市民が主体となって活動する図書館の土台づくりを行っていきます。



主な経緯 (市民意見など)

平成26年度

豊橋市まちなか図書館(仮称)整備基本計画策定

- 意見交換会 H26.6～7
- 市民ワークショップ H26.9～10
- 意見交換会 H26.12
- 説明会 H27.2～3
- パブリックコメント H27.2～3

平成27年度

豊橋市まちなか図書館(仮称)実施計画策定

- 懇談会 H27.7～9
- 説明会 H28.2



まちなか図書館で借りた本を木陰のベンチや芝生等で読むなど、まちなか広場との繋がりを考慮します。

豊橋市まちなか図書館(仮称)実施計画<概要版>

平成28年3月発行 豊橋市 都市計画部 まちなか図書館整備推進室
 豊橋市教育委員会 教育部 図書館

お問い合わせ先 豊橋市都市計画部まちなか図書館整備推進室
 〒440-0897 豊橋市松葉町2丁目10番地
 TEL 0532-55-8102 FAX 0532-55-8100
 E-mail machitosh@city.toyohashi.lg.jp
 URL <http://www.city.toyohashi.lg.jp/18046.htm>